

巷ではパリ五輪、教会では夏の特別礼拝、バイブルキャンプで燃やされました。明後日からの近畿夏期聖会でも、大きな祝福が待っています。霊肉ともに満たされて、これからの日々に向かって行きましょう。御国の平和を心から求めて！

地上の権威に惑わされるな

平和を勝ち取るプロセスの中に、プラスとマイナスがあります。忍耐によって前進する時と、犠牲を払って後退する時を、見極めなければならないということです。

私たちは、足し算は得意ですが、引き算は苦手です。発展は喜びですが、尻拭いは嫌いです。しかし、本当の平和に到達するために、イエス様は究極の引き算と、尻拭いをしてくださいました。そして、同じように歩まなければ、私の弟子ではない、平和の子にはなれないと言われたのです。

足し算と発展、それは言い換えれば、地上の権威に従い、より頼むことです。たとえそれが宗教的・文化的権威であってもです。イエス様は鋭く、聖地エルサレムの滅亡を預言されました。この富や宝、権威にしがみつ়く者は、その滅亡と共に運命が終わりを迎えます。しかし、それは神の御心ではないのです。

全てを与えてくださった方に信頼せよ

28節には、「このようなことが起こり始めたら、身を起こして頭を上げなさい。あなたがたの解放の時が近いからだ」とあります。解放は、贖い、救済とも訳される言葉です。救済をもたらすのは、権力者ではありません。私たちのために、命までも与えてくださった、十字架と復活の主、イエス・キリストです。ですから、この方にこそ、私たちは信頼し、全てを委ねなければならないのです。

主に信頼するとは、キリスト教をもって、他宗教を攻撃することではありません。イエス様が生きられたように、自分も生きるということです。簡単に言えば、周りの人とは違う生き方を生きるということです。赤信号でも、みんなで渡っているから怖くない、という流れの中で、一人青になるのを待つのは、逆に勇気もいるし、笑われたりもするでしょう。しかし、戦争という大きなトラックが人の波に突っ込み、地獄の叫びが起こる時、イエス様は、早く逃げなさいと、私たちを速やかに救い出してくださいます。ですから私たちは、救いはこの道だと、叫ぼうではありませんか。

人々は希望を求めて生きています。強制収容所に拘束されている人が、難民となった人が、飢餓で病や死と隣り合わせの人が、救いを求めています。解放の時は近い、と聖書は語っています。その時まで、私たちは主に信頼し、この方に従いましょう。そして、「迷わず逃げなさい」と主から命じられた時には、自らの力にしがみつ়くのではなく、平和への痛みを伴う道に、直ちに走り出せるように、祈りましょう。